



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年11月9日

上場会社名 大伸化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4629 URL <http://www.daishin-chemical.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉浦 久毅

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 山口 利美

TEL 03-3432-5872

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,946	8.3	743	35.8	757	34.9	492	36.8
29年3月期第2四半期	11,952	9.5	1,157	34.0	1,162	34.5	779	34.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	107.74	107.65
29年3月期第2四半期	171.44	171.07

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	18,961	11,239	59.3
29年3月期	18,053	10,888	60.3

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 11,238百万円 29年3月期 10,887百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		40.00	40.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 特別配当 15円00銭

## 3. 平成30年 3月期の業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	1.8	1,246	29.1	1,250	29.3	826	29.4	180.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、7ページ「2.四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	4,592,000 株	29年3月期	4,592,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	24,719 株	29年3月期	24,719 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	4,567,281 株	29年3月期2Q	4,544,425 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報をもとに行った見込であり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調に推移いたしました。海外における不安定な政治動向や地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が主として関連する塗料業界におきましては、こうした経済環境のもと、出荷数量は前年並みの水準となりました。

このような情勢のもとで、当社における当第2四半期累計期間の製品出荷数量は、81,803トン(前年同期比9.5%増)となりました。

当第2四半期累計期間の業績といたしましては、売上高は新規需要開拓等により製品及び商品の出荷数量が増加したことにより、129億46百万円(同8.3%増)と増収になりました。

主な品目別の売上高は、ラッカーシンナー類が3億64百万円(同2.1%減)、合成樹脂塗料用シンナー類が3億13百万円(同6.3%減)、洗浄用シンナー類が8億55百万円(同1.3%減)、印刷用溶剤類が22億75百万円(同2.7%増)、特殊シンナー類が14億11百万円(同9.6%増)、単一溶剤類が55億円(同12.6%増)、塗料・その他が6億84百万円(同12.3%増)、単一溶剤を中心とした商品が15億40百万円(同11.5%増)となりました。

一方損益面では、効率的な原材料購入の推進及び新規需要の開拓等に努めましたが、前年と比較して原油・ナフサ市況が高水準で推移したことが原材料コストの増加要因となり、営業利益7億43百万円(同35.8%減)、経常利益7億57百万円(同34.9%減)、四半期純利益4億92百万円(同36.8%減)と、いずれも減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、189億61百万円(前事業年度末比9億8百万円増)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加(同22億38百万円増)等があったものの、現金及び預金の減少(同12億8百万円減)、原材料及び貯蔵品の減少(同62百万円減)等があったことによるものであります。

負債総額は、77億22百万円(前事業年度末比5億56百万円増)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加(同9億25百万円増)、短期借入金の増加(同1億20百万円増)等があったものの、未払法人税等の減少(同80百万円減)等があったことによるものであります。

純資産は、112億39百万円(前事業年度末比3億51百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金の増加(同3億9百万円増)等があったことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べて12億8百万円減少し、22億20百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は、7億26百万円(前年同期は4億90百万円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益の計上7億38百万円、仕入債務の増加9億25百万円等があったものの、売上債権の増加22億38百万円、法人税等の支払額3億11百万円等があったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、3億6百万円(前年同期は1億71百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2億90百万円等があったことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、1億74百万円(前年同期は89百万円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出71百万円、配当金の支払額1億82百万円等があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績予想につきましては、今後も予想される厳しい景況感並びに不透明な原材料市況等を考慮して、平成29年5月12日の決算短信で公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,183,116	2,974,580
受取手形及び売掛金	8,041,711	10,280,121
商品及び製品	118,805	128,828
原材料及び貯蔵品	551,914	489,247
その他	359,729	297,915
貸倒引当金	△4,119	△5,704
流動資産合計	13,251,158	14,164,988
固定資産		
有形固定資産	3,502,357	3,449,592
無形固定資産	63,733	60,815
投資その他の資産		
その他	1,264,170	1,318,357
貸倒引当金	△27,744	△31,828
投資その他の資産合計	1,236,426	1,286,529
固定資産合計	4,802,517	4,796,936
資産合計	18,053,675	18,961,925
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,143,875	6,069,823
短期借入金	—	120,000
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	134,500	126,750
未払法人税等	346,807	266,564
賞与引当金	131,160	127,590
役員賞与引当金	62,275	—
その他	653,675	391,926
流動負債合計	6,542,293	7,172,653
固定負債		
社債	140,000	105,000
長期借入金	149,500	86,250
退職給付引当金	149,232	143,912
役員退職慰労引当金	138,725	148,875
その他	45,895	65,613
固定負債合計	623,352	549,650
負債合計	7,165,646	7,722,304

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,000	729,000
資本剰余金	674,459	674,459
利益剰余金	9,452,206	9,761,613
自己株式	△18,342	△18,342
株主資本合計	10,837,323	11,146,730
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	49,907	92,091
評価・換算差額等合計	49,907	92,091
新株予約権	798	798
純資産合計	10,888,029	11,239,620
負債純資産合計	18,053,675	18,961,925

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	11,952,923	12,946,228
売上原価	9,296,788	10,662,222
売上総利益	2,656,134	2,284,005
販売費及び一般管理費	1,498,172	1,540,525
営業利益	1,157,961	743,480
営業外収益		
受取利息	211	200
受取配当金	8,059	9,957
その他	9,495	10,272
営業外収益合計	17,766	20,430
営業外費用		
支払利息	3,329	1,620
手形売却損	7,430	3,165
社債利息	2,108	1,573
その他	69	67
営業外費用合計	12,938	6,426
経常利益	1,162,789	757,484
特別利益		
固定資産売却益	534	256
特別利益合計	534	256
特別損失		
固定資産売却損	7	212
固定資産除却損	6,696	19,086
特別損失合計	6,704	19,299
税引前四半期純利益	1,156,620	738,442
法人税等	377,520	246,344
四半期純利益	779,100	492,098

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,156,620	738,442
減価償却費	142,888	134,815
売上債権の増減額(△は増加)	37,198	△2,238,409
たな卸資産の増減額(△は増加)	△34,162	52,644
仕入債務の増減額(△は減少)	△289,278	925,948
その他	△162,324	△35,808
小計	850,941	△422,367
利息及び配当金の受取額	8,270	10,158
利息の支払額	△5,437	△3,193
法人税等の支払額	△363,493	△311,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	490,281	△726,768
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△161,057	△290,061
有形固定資産の売却による収入	853	844
無形固定資産の取得による支出	△2,120	—
投資有価証券の取得による支出	△664	△545
貸付金の回収による収入	4,331	1,531
保険積立金の積立による支出	△14,863	△18,973
保険積立金の解約による収入	585	619
差入保証金の差入による支出	△15	△200
差入保証金の回収による収入	1,446	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171,502	△306,784
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	120,000	120,000
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△94,500	△71,000
社債の償還による支出	△35,000	△35,000
リース債務の返済による支出	△1,020	△1,045
長期未払金の返済による支出	△10,412	△5,244
配当金の支払額	△168,143	△182,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,076	△174,982
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	229,701	△1,208,535
現金及び現金同等物の期首残高	3,301,908	3,429,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,531,610	2,220,580

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

当社の事業は、シンナー製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。